

## 平成27年度 事業報告

平成27年度の年度の活動は事業計画に基づき順調に進められた。

委員会の活性化、HPの活用、同期会の開催支援等について積極的な取り組みを実施した。

その他の活動では、会報の発行、新年懇親会の開催などの定例行事の他、市大会・Y校会では同窓会の日常的な活性化に取り組んでいる。

進交会は「高齢化に伴う正会員・会費の減少」と「若年層の同窓会への関心をどう集めるか」等の課題に直面しているが、それらの課題は今現在も解消せず、積極的な対応が要請される。引き続き、年代別の会費収納策の導入や、同期会の開催及びホームカミングデーへの参加協力を積極的に行ったり、部活・ゼミOB会開催の推進等により、一人でも多くの若い会員の参加を今後も呼びかける。

なお、今年度は平成27年度理事の中から、従来のような進交会運営では近い将来予想される大きな課題に対応出来なくなるのではないかという問題提起があり、平成27年11月10日の第3回総務・財務委員会で「進交会の今後の方針について」という資料に基づき、現状の進交会の課題を討議した。その結果これらの課題は他の委員会を含めた進交会全体の課題であるとの結論に至り、次の理事会で「理事全員による進交会課題の共有化」を実施、対策を検討する事になった。

平成27年11月25日の第2回理事会で「進交会の今後の方針及び特別委員会の設置承認の件」が承認され、12月21日から特別委員会の活動が始まった。

特別委員会では延4回の会合を重ねて、平成28年3月24日の第3回理事会で「特別委員会から理事会への提案」を提示し、それが承認された。

平成28年度は「特別委員会から理事会への提案」に基づいて推進4項目の主担当を決め、其々のテーマについて更に具体的な対応策を検討し、進交会としての最終的な方針を策定する予定である。

### [I] 平成27年度重点目標

#### 1. 高齢化に伴う会員・会費の減少へ対応

平成22年度より会費のコンビニ払いを導入し納入窓口を増やすことにより、年々成果を上げてきたが、本年度の会費収入は4,917,000円であった。これは終身会費を50,000円から30,000円に値下げした効果により、大幅に増えた平成25年度より減っているが、平成24年度の4,207,000円は上回っている。

今後も終身会費を年代ごとにターゲットをしぼるなど、積極的な取り組みを推し進めることが肝要と思われる。

#### 2. 財政基盤の確立

- ①リニューアル募金の推進、②進交会費増収策の検討、③みなと倶楽部の黒字化、④2階テナントの募集等、をメイン施策として取り組んだ。

①項のリニューアル募金は平成28年3月31日現在で11,099千円となった。

(リニューアル募金 目標比74%)

進交会館 リニューアル募金状況 (平成28年3月31日現在)

学校・学部		件数	金額 (円)
Y校		372	5,720,000
Y専		26	345,000
市大	商学部	197	3,567,000
	文理学部・国際文化学部・理学部	67	827,000
	国際総合科学部	1	10,000
	医学部・医学専門学校・医科大学	37	440,000
	高等看護学校・看護短大	9	130,000
市大合計		311	4,974,000
教職員他		2	60,000
総合計		711	11,099,000

②項の進交会費増収策としては、還暦同窓会等を通じて終身会費納入を訴えている。

③項の「みなと倶楽部黒字化の取り組み」は826千円の赤字で終了。

④項については平成28年1月18日よりテナントが入居し、3月からテナント収入が得られるようになった。

### 3. 2階テナントの確保

昨年11月より引き合いのあったテルコム((株))との賃貸契約が完了し、平成28年1月18日よりテナントとして入居して頂いている。

### 4. 同期会の開催支援

平成22年より60歳還暦を迎えたY校卒業生の同期会開催を支援している。平成27年度もY校昭和48年卒業生は120名が集い、旧友との再会で盛りあがって、進交会を思い出させる効果に大いに役立っている。

また、2年に一回開催されてきた市大同窓会は27年度市大ホームカミングデーとの同時開催企画を推進。世話人を選出し、進交会市大会の会員らに積極的に呼びかけた結果、207名(前年の約3割増)の卒業生が参加し、大学側からも感謝の言葉をいただいた。なお記念講演は、市大国際総合科学部経営科学系教授の白石小百合氏が、「幸福度をはかる経済学」と題して講演し、好評であった。

## [II] 会員の状況 (平成28年3月31日現在)

### 1. 本年度新会員

Y校	277名
市大	920名
合計	1,197名

## 2. 会員総数

区 分	会員（物故者を除く）	住所不明者	住所登録者数
Y 校	23,809	8,241	15,568
Y専・専修科	946	528	418
市 大	34,753	15,151	19,602
合 計	59,508	23,920	35,588

### 【市大生内訳】

区 分	会員（物故者を除く）	住所不明者	現 在 数
商学部	14,761	6,319	8,442
文学部	9,405	4,391	5,014
国際文化学部	1,032	635	397
理学部	690	333	357
医学部(医大・医科大)	2,732	1,077	1,655
国際総合科学部	2,494	546	1,948
看護(高等看護含む)	3,635	1,848	1,787
その他	4	2	2
合 計	34,753	15,151	19,602

## 【Ⅲ】 進交会の定例事業

### 1. 社員総会

- (1) 開催日時 平成27年5月30日（土）午前11時00分より
- (2) 開催場所 進交会館 5F会議室
- (3) 出席者 43名（委任状47名）
- (4) 議 題

- ① 第一号議案 平成26年度 事業報告承認の件
- ② 第二号議案 平成26年度 決算報告書承認の件
- ③ 第三号議案 定款変更承認の件
- ④ 第四号議案 平成27年度 新理事選任決議の件

第一号議案、第二号議案が承認された後、第三号議案定款変更の件が承認されたので第四号議案平成27年度新理事選任決議が可能になり、この議案も承認された。社員総会終了後に懇親会を開催。

### 2. 進交会報第81号の発行

第81号は平成27年10月8日に発行し、会員全員に配布。今回の進交会報は、81号にあたっての理事長挨拶、市大新理事長の挨拶、Y校校長の挨拶に引き続き、日仏の文化交流に貢献された猿渡紀代子さん（市大商46年卒）のフランス芸術文化勲章シュバリエ受章の記事や、第3回全国学生英語プレゼンテーションコンテストで文部科学大臣賞を受賞した太田杏奈さん（市大国際総合科学部2年・Y校平成25年卒）の記事等々を掲載。

その他例年通り、各支部の活動報告や、会員の同期会便りのほか、市大、Y校生の様々な活動や活躍を掲載。写真も増やし、母校の現状や会員の活動をわかりやすく伝えるよう

に心がけた。

### 3. 教養講座

5年前から始められた教養講座は平成27年度も継続して開催され、横浜市大元学長の加藤祐三講師の「横浜村での日米交渉」他、延6回236名に参加して頂いた。

### 4. 新年懇親会の開催

平成28年1月30日(土)に崎陽軒本店4Fで開催。参加者は招待客を含め134名(前年比プラス4名)であった。アトラクションは、市大ジャズバンド「セカンド ウィンド ジャズオーケストラ」の演奏、横浜レク・フラ市民の会のフラダンスがあり、最後に恒例の福引を行い参加者に好評であった。

この席で叙勲・受章の表彰を行い、秋谷理事長が受章者に記念品を授与した。  
なお、受章者は次の通りである。

平成27年 瑞宝双光章

長倉 靖彦 様

## [IV] 理事会、各委員会及びその他の会合

### 1. 理事会

第一回理事会 平成27年6月26日(金) 午後5時30分より

- 第一号議案 公益目的支出計画実施報告書承認の件
- 第二号議案 平成27年度新常務理事候補者承認の件
- 第三号議案 各委員会の新委員候補者承認の件
- 第四号議案 職員夏季賞与支給の件

第二回理事会 平成27年11月25日(水) 午後5時30分より

- 第一号議案 平成26年度上半期決算承認の件
- 第二号議案 平成28年進交会新年懇親会開催承認の件
- 第三号議案 職員冬季賞与支給の件
- 第四号議案 進交会の今後の方針及び特別委員会設置承認の件
- 第五号議案 事務局長承認の件

第三回理事会 平成28年3月24日(金) 午後5時30分より

- 第一号議案 「特別委員会から理事会への提案」承認の件
- 第二号議案 平成27年度収支見込と  
平成28年度収支予算案承認の件
- 第三号議案 役員選考委員会委員候補承認の件
- 第四号議案 社員総会の日程及び議題の件

第四回理事会 平成28年4月25日(月) 午後5時30分より

- 第一号議案 平成27年度事業報告(案)承認の件
- 第二号議案 平成27年度決算報告(案)承認の件
- 第三号議案 平成28年度事業計画(案)承認の件
- 第四号議案 平成28年度収支予算(案)承認の件
- 第五号議案 顧問承認の件

## 2. 各委員会

平成27年度より従来の4委員会（総務委員会、広報委員会、事業委員会、文化厚生委員会）を名称変更及び統合により3委員会に変更され、それに基づいて委員会活動の活発化を図った。これにより各委員会のスリム化、業務の明確化が図れ、一定の成果が表れてきたと思われる。

## 3. 部 会

### (1) Y校会

平成27年度も昨年に引き続き『組織の拡大・活性化』『母校への積極的支援』をテーマに掲げ取り組んできた。新たな企画として『Y校会講座』の開講(年3回・累計107名参加)、『歌舞伎鑑賞教室』の開催(51名参加)、そして『暑気払い』を開催(62名参加)し、更には「Y校会の集い」を「硬式野球部120年記念祝賀会」と合同で開催し、また年2回の「Y校会だより」の発行等も行なった。

母校への積極的支援策として、学校説明会来訪者へのノベルティ費用、Y校食堂の食器購入費用等の支援を行ったが、生徒への学術支援については課題もあり、今後Y校と調整しながら積極的に取り組んで行く所存である。

以上の施策の他、平成27年11月～12月まで7週にわたり朝日新聞の「青春スクロール」記事に、各界で活躍するY校OB31名から「Y校の素晴らしさ」「Y校時代の思い出」を紹介していただき好評を博した。

平成28年度も引き続き昭和40年以降卒業の会員に対し各種企画行事への参加呼び掛けを推進し、Y校会への理解を深めてもらうことで正会員を増員していく方針である。

### (2) 市大会

市大会は、これまで2年に1回の市大同窓会パーティーを開催してきたが、27年度は市大ホームカミングデーとの同時開催企画を推進した。横浜市大から過去のホームカミングデー参加者等に案内がされたが、市大会としても会員らに積極的に呼びかけた結果、207名（第13回同窓会参加者の34%増）の卒業生に参加して頂いた。

その他、日常的に市大会活動を活発化すべく、協議会を持って議論してきた。協議会の中では、ホームページの立ち上げによって情報を提供すること、それにより異業種交流や若手会員、市大在學生との交流促進を進めること、あるいは市大のキャンパスツアーなどを企画して会員の参加を募ることなどのアイデアが出されている。

また市大の嘗ての著名教授の研究業績展や回顧展などを大学と協力して開くなどの活動も実現しつつある。今後も議論を深め一つずつ実現していく所存である。

## [V] みなと倶楽部・文化教室

みなと倶楽部 …… 売上 1, 125.7万円（前期比98.4%）

売り上げは前年度比から微減の水準だが、赤字幅は若干減少（-216千円）

している。しかしこれは人件費等々の減少によるもので、売り上げ増の方策に工夫を凝らし、コストの圧縮も検討しなければならない。

文化教室 …………… 生徒延べ人数 703名

定例講座を含めた収入 169万円

どの教室も高齢化による生徒数減少と会費収入の減少、また教室閉鎖の恐れもあり、若年層の取り込みや新たな教室の開講等が急務であるが、今後の進め方は原点に戻って検討し直す必要があるかもしれない。

## [VI] 母校関係

### 1. Y校・市大行事への参加

- (1) Y校 ① 入学式 平成28年4月6日(水) 出席者：秋谷理事長、田宮Y校会会長  
② 卒業式 平成28年3月1日(火) 出席者：秋谷理事長、田宮Y校会会長
- (2) 市大 ① 入学式 平成26年4月5日(火) 出席者：秋谷理事長、川辺副理事長他  
② 卒業式 平成28年3月25日(金) 出席者：秋谷理事長、川辺副理事長他  
③ 「第63回医学のために献体された方々への感謝の集い」  
平成27年11月14日(土) 出席者：秋谷理事長他

### 2. 表彰・支援

#### (1) 表彰

- ・ 市大 「進交会賞」14名(国際総合科学部12名、医学部2名)
- ・ Y校 「奨学金」7名(クラスの成績優秀者)  
「美澤皆勤賞」50名(3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与)

#### (2) 広告掲載

- ・ 市大：運動部連合会、浜大祭、混成合唱、管弦楽団
- ・ Y校：Y校文化祭、Y校吹奏楽部OBバンド

#### (3) 母校への支援

- ・ 市大：70万円 浜大祭へ：10万円  
他「献体された方々への感謝の集い」への助成
- ・ Y校：21万円、Y校祭硬式野球招待試合費用援助 5万円

## [VII] 支部関係

静岡支部総会	平成27年	4月18日	秋谷理事長、市村事務局長
名古屋支部総会	平成27年	7月4日	金子理事、市村事務局長
近畿進交会総会	平成27年	10月17日	秋谷理事長、市村事務局長
千葉県支部総会	平成27年	11月7日	秋谷理事長、佐藤事務局長
北陸支部総会	平成27年	11月7日	川辺副理事長
宮城支部例会	平成27年	11月14日	本部からの参加はナシ

以上